

統計トピックス

平成22年1月
発行 福島県統計協会
福島市杉妻町2番16号
(福島県統計分析課内)
電話 024-521-7143

No.10

☆ 身近な統計情報を紹介します

医療施設の整備状況を見てみましょう

～調査結果から見た福島県の医療施設の状況～

平成21年11月から12月にかけて、厚生労働省から平成20年における「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」、「医師・歯科医師・薬剤師調査」等の結果が公表になりました。その調査結果から福島県における医療施設の状況について紹介します。

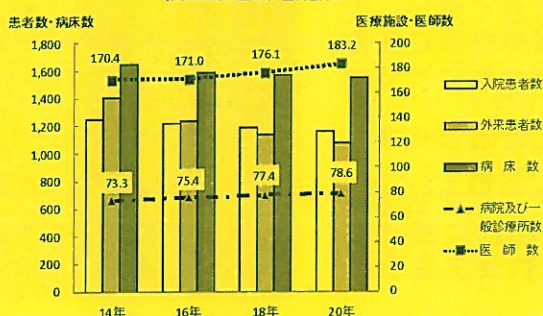
まず、全国の医療施設（平成20年10月1日現在）は、175,656施設で、病院が8,794施設、一般診療所が99,083施設、歯科診療所が67,779施設となっており、前年と比較すると全体で536施設減少しています。これら医療施設数の減少は、医療法人が842施設増加したにもかかわらず、個人施設が1,265施設減少したためです。なお、本県の医療施設数（人口10万人当たり）は、病院が7.1施設、一般診療所が71.5施設、歯科診療所が44.2施設で、全体で122.8施設、前年よりプラス0.4施設とほぼ横ばいとなっています（全国で33番目）。

病床数については、県全体で31,728床、人口10万人当たりでは1,546.2床と全国25番目で、前年より7床減っていますが、本県が医療法に基づいて病院の病床及び診療所の療養病床等の適正配置を目的に定めた基準病床数の23,561床（平成19年3月31日現在）と比べ、大きく上回っています。

さらに、病院報告における本県の一日平均患者数（人口10万人当たり）は、2,238.9人で前年より39.7人少なく減少傾向となっています。また医師・歯科医師・薬剤師調査の医療施設に従事して

いる医師数（人口10万人当たり。歯科医師を除く。）でみると、全国平均212.9人のところ本県は183.2人と全国37番目で、2年前の前回調査より7.1人増加しています。福島県では、医師数の地域間格差や特定診療科の医師不足などが生じているため、平成24年には200.0人を目標に医師の確保に向けた対策を講じています。

福島県医療施設等の推移
(人口10万人当たり・歯科を除く)



【出典】厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査・病院報告の概況」

「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」

統計豆知識

医療施設調査における病院と一般診療所

医療施設調査は、医療法に定める病院・診療所の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的として実施されています。

この中で医療法に定める病院とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するものです。また一般診療所とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く。）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するものとなっています。

☆ 福島県の特徴を統計値から探ってみましょう

〈 統計でみる福島県 〉

平成21年11月に文部科学省から「社会教育調査—平成20年度（中間報告）」が公表になりましたので、福島県における図書館数及び人口10万人当たりの図書館数について紹介します。

まず図書館数ですが、前回の平成17年度調査では、58館であったのに対して、今回は64館と6館増加しました。また人口10万人当たりの図書館数も3.12館となり、前回と比較して増えています。ですが、この数値をみるときは、福島県の人口が前回調査の時より約3万9千人減少しているということも考慮しなければなりません。

注：図書館数は、本館及び分館の合計値。

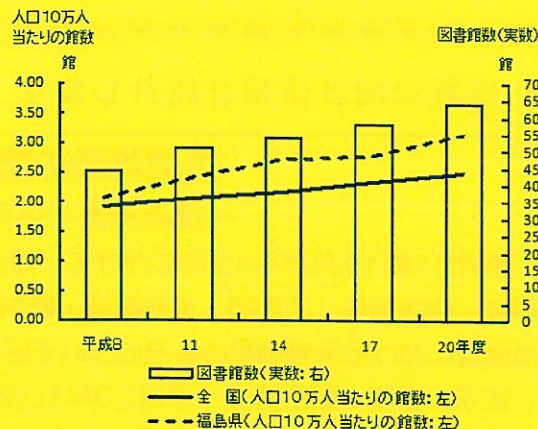
人口10万人あたりの図書館数の算出方法

図書館数/人口（平成20年10月1日現在）×10万人

人口については、総務省統計局「人口推計年報」を使用。

— 福島県における図書館数及び

人口10万人当たりの図書館数 —



【出典】文部科学省「社会教育調査」

平成20年度については、「中間報告」

☆ 福島県統計協会からのお知らせです

平成21年度 統計セミナーを開催します。

人口減少時代をどう生きる

～ 地方経済はどうなる？年金、雇用はだいじょうぶ？ ～

福島県統計協会では、統計をより身近なものと感じていただくために統計セミナーを開催いたします。

日本の人口は、戦後、ベビーブームなどを背景に大きく増加してきましたが、2005年の国勢調査結果によると「減少局面にある」と発表され、また国立社会保障・人口問題研究所の将来推計でも今後減少は続いていくと見られています。

人口の減少は、日本経済・地方経済の規模の縮小にとどまらず、行政や企業経営そして国民生活に様々な変化をもたらします。

講演では、人口減少問題に関して著名であり、マスコミでも活躍されている松谷 明彦 先生をお招きして、人口減少時代における経済・社会について解説していただくとともにこの時代を生きるヒントについて講演していただきます。



政策研究大学院大学教授

まつたに あきひこ
松谷 明彦 先生

◆ 日 時 平成22年1月28日(木) 14:15～15:45

◆ 会 場 郡山市労働福祉会館 中ホール

(郡山市虎丸町7番7号 電話 024-932-5279)

※駐車場が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

◆ 演 題 人口減少時代をどう生きる

～ 地方経済はどうなる？年金、雇用はだいじょうぶ？ ～

◆ 定 員 100名（申込先着順とさせていただきます。）

◆ 受講料 無 料

◆ 申込方法 福島県統計協会まで電話でお申し込みください。

電話 : 024-521-7143

※ なお、統計セミナーの詳細については、福島県統計協会にお問い合わせください。